

# 人工芝取扱説明書

表面／● 施工方法(下地が土の場合)

裏面／● 施工方法(下地が土以外の場合)・お手入れについて・各商品の注意事項

## 施工方法／下地が土の場合

### 施工方法 ① 整地

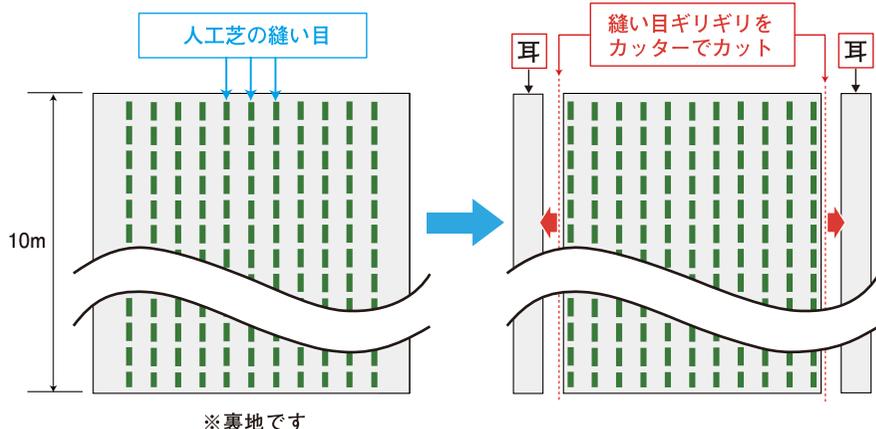
- ① 雑草・天然芝の除去を行う。下地が軟弱な場合は、プレート or ローラーで転圧をし、締め固める。ある程度不陸を直しておく。
- ② 碎石を約5cm程散布し、プレート or ローラーで丁寧に転圧をし、不陸修正を行う。
- ③ 碎石が隠れる程度に薄く砂を散布し、転圧やトンボがけで更に不陸を修正する。

### 施工方法 ② 防草シート

- ① 防草シートを敷き、めくれない程度にピンで軽く固定する。(後工程で人工芝をピンで固定する際に、防草シートは更に固定されるので、この時は軽く固定するだけで良い。)

### 施工方法 ③ 人工芝開封後耳カット

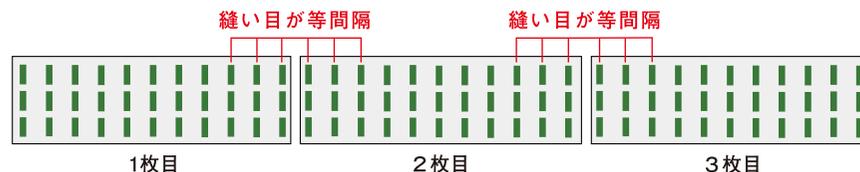
- ① 人工芝を開封し、人工芝の両サイドの基布の余り分(耳)を裏地からカットする。



※施工方法④と⑤は流動的に前後して同時に行います。

### 施工方法 ④ 仮敷き・ジョイント位置合わせ

- 人工芝を事前に決めた割付通りに仮敷きする。  
その際、下記のようにジョイント(継ぎ目)部の縫い目を調整する。



※耳カットをしているので、一定間隔の隙間を空けて敷けば、均一に縫い目間隔を揃えることができる。  
※芝の向きがあるので、同じ方向へ張る。

### 施工方法 ⑤ カット・ピン固定(端部)

- ① 現場の形に合わせてカッターもしくはハサミでカットする。
- ② 人工芝の端部をピンで約50cm間隔で打ち固定する。

### 施工方法 ⑥ ジョイント

- ① 人工芝に接着剤がつかないように、ジョイント部の人工芝部分に養生テープを張り、あらかじめ保護する。
- ② ジョイント部をめくり、防草シートの上に20cm幅に接着剤を1m150gの目安で塗布する。
- ③ ジョイント位置合わせを行いながら、丁寧に両サイドの人工芝を接着剤の上に落とす。
- ④ 足踏みやローラーでジョイント部を転圧し、接着させる。
- ⑤ 接着剤が固まったら、養生テープを剥がし、ジョイント箇所を跨ぐようにピンを約50cm間隔で打ち、固定する。



ジョイント部に接着剤を塗布する様子

### 施工方法 ⑦ 仕上げ

- 熊手や手で芝を起こす。
- カットの際に出た芝を掃除機やほうきで除去する。散水も可。
- 人工芝が浮いている部分があれば重点的にピンで固定する。

季節(気温)	待ち時間	貼付け可能時間
夏(25~35℃)	5~10分	30~40分
春秋(15~25℃)	10~20分	40~60分
冬(5~15℃)	10~30分	40~60分

※接着剤を塗ってから貼り付けるまでの待ち時間(オープンタイム)と貼り付け可能な時間(接着剤が固まるまでの時間)の一覧表

## 施工方法／下地が土以外の場合

( ベランダや屋上などのコンクリート面 )

### 施工方法 ① 下地処理

- 床の掃除を入念に行う。小さな砂や埃が接着を妨げる恐れがあるので、注意する。

### 施工方法 ② ショックパッド

- 仮敷きを行い、先に敷設面積に合わせカットする。
- 接着剤を700～750g/m<sup>2</sup>を使用し、全面接着を行う。

### 施工方法 ③ 仮敷き・カット・位置合わせ

- 下地が土の場合同様に耳カットを行う。
- 下地が土の場合同様に仮敷を行う。
- 下地が土の場合同様にカット作業を行う。

### 施工方法 ④ 人工芝の固定

- 接着剤を700～750g/m<sup>2</sup>を使用し、全面接着を行う。

### 施工方法 ⑤ ジョイント

- 下地が土の場合同様にジョイントを行う。

### 施工方法 ⑥ 仕上げ

- 下地が土の場合同様に仕上げを行う。



### 【 両面テープで仮設する場合の注意点 】

ベランダや屋上などのコンクリート面に敷設される場合、接着剤による施工を推奨しておりますが、接着剤が使用できない設置場所には仮設用として両面テープをご使用いただけます。しかし、温度変化により本製品の寸法変化が起きるため、当初の固定位置からズレが生じたり、ジョイント部分が開いてしまう恐れがございます。特にカールタイプのような芝丈が短いタイプはズレが目立ちます。ご了承をお願い致します。

## お手入れについて

- ゴミ掃除は掃除機(設定弱め)もしくは、ほうきをご利用できます。
- 芝が寝ているときは熊手や手袋を使い、芝が立つように芝方向の逆向きに撫でて逆立てください。
- 飲み物をこぼした場合は水で洗い流してください。

## 各商品の注意事項

- 本来の用途以外にはご使用にならないください。
- 排水穴から雑草が生えてくる場合がございます。事前に防草シートを敷くことを推奨いたします。
- 弊社商品は生産ロットの違いにより、色、サイズ、芝糸の形状に多少ばらつきが出る場合がございます。また、端部分の芝糸がほつれやすくなっております。
- まれに裏面に芝糸の結び目がみられますが、使用上問題はございません。
- 夏期の高温下では、製品表面が熱くなり火傷する恐れがあります。
- 火気によって人工芝が溶けたり、焦げたりしますので火気厳禁をお願いします。
- 人工芝には芝向きがありますので、向きを合わせて施工を行ってください。
- 水滴や凍結などが原因で、人工芝の表面が滑りやすくなる場合がございます。
- 梱包状態の都合上、まれに透水穴に入り込んだ芝糸が、変形する場合がございます。
- 人工芝は樹脂製のため低温下では芝糸が起きづらい場合がございます。なお、芝糸の形状や密度によって、施工方法の仕上げ作業(芝起こし)の難易度に差異がございます。
- 商品の性質上、人工芝、ショックパッドが伸縮する場合がございますので、下地への固定作業が必要になります。固定方法につきましては、推奨施工方法のページをご参照ください。
- ガラスなどに反射した太陽光により人工芝が溶ける恐れがあります。
- ショックパッドは安全性を保證するものではありません。
- 遮熱性能は、表面温度の上昇を抑制する性能ですので、必ずしも熱くならないという意味ではありません。
- 耐静電気性能は、静電気の発生を抑制する性能ですので、必ずしも静電気が発生しないという意味ではありません。
- 抗菌性能は、菌の繁殖を抑制する性能であり、殺菌性能ではありません。
- 人工芝の切れ目から、基布のほつれた糸が出るがありますが、製品上問題ございません。ほつれた糸を根元から切っていただくと除去できます。
- 施工方法、及び副資材、オプション品に関しましては、カタログ掲載の推奨方法、及び推奨副資材推奨オプション品を使用してください。